

令和3年度使用中学校用教科書 採択理由書

| 種目 | 採択した<br>発行者 | 採択理由  |
|----|-------------|---|
| 国語 | 光村          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生は2、3年生に比べ大きなフォントを使用している。またカラーユニバーサルデザイン・書体(光村独自)で視認性を高め、特に色覚特性のある生徒にも学習しやすい配慮を講じていること。</li> <li>○SDGsの視点を含んだ教材を系統的に配置している。例 2飢餓をゼロに…1年「大人になれなかつた弟たちに…」</li> <li>○教材中の難解語句については、紙面の下段(脚注)で意味や用例を解説している。また語彙の量と質を高めるための教材を各学年に設けていること。</li> <li>○作品や文章を深く理解するために必要な学習用語を系統的に学べるようにしており、各单元の「学習の窓」に「学習で用いる言葉」が示されていること。<br/>例…語彙表(1年P 300)、中扉(1年「時を表す言葉」 2年「色」 3年「季節」)</li> <li>○「話すこと・聞くこと」の領域では、相手の話を能動的に引き出す「対話・質問」が設定され、質問力(主体的に聞く力)を養うための教材が学年系列で設定されていること。例: 1年「情報を的確に聞き取る〈メモの取り方〉 2年:「問い合わせを立てながら聞く」、3年:「評価しながら聞く」「説得力のある構成」「聞き上手になろう(質問で相手の思いに迫る)」</li> <li>○「書くこと」についての領域では教材冒頭で、これまで身につけた資質・能力を「生かす」場を、末尾には習得した力を日常生活や学校生活、将来に「つなぐ」ための具体例を設け、当該学習で育む資質・能力は「学習の窓」で簡潔に解説されており、「点」の学びが「線」の学びになるよう構成されていること。</li> <li>○「読むこと」についての領域では、巻末「学習を広げる」の冒頭に、基礎的・基本的な読みの方法をまとめた「文学的(説明的)な文章を読むために」が設定され、国語だけでなく、日常生活や読書でも活用できるように工夫されていること。</li> <li>○論理的思考力を育むため、模式図、地図、写真、表、グラフなど多様な図表を文章と結び付けて読む力をつける単元が設定されている。(説明文)</li> <li>○同一テーマに複数の教材文を用意し、対象を吟味し、評価するなどした上で、批判的な読みの力を養う単元が設定されている。</li> <li>○「情報の扱い方」教材について「思考のレッスン」と「情報整理のレッスン」の2つの系列で、例示や図解で解説しており、全学年巻頭には「思考の地図」が設定されていること。</li> <li>○教材紙面に二次元コードが付され、文章の内容に関連する資料動画や、作者・筆者へのインタビュー等の参考資料が収録されている。二次元コードが付されている教材は1年25、2年23、3年21の合計69教材と豊富であること。</li> </ul> |

|    |    |   |
|----|----|---|
| 書写 | 光村 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の目標が目次で提示され、3年間の学習の見通しが持てる。</li> <li>・文字指導が1年次に多く、学年を追うごとに日常化の場面を増やすなど、発達段階を踏まえた配列になっている。</li> <li>・各学年の学習内容が大単元でバランスよく配列され、単元数も適切である。</li> <li>・硬筆練習帳「書写ブック」や「書写テスト」を活用することで、既習事項の確実な習得が図れる。</li> <li>・全ての単元で「①考え方②確かめよう③生かそう」の問題解決的な学習の流れになっていて、生徒が見通しをもって取り組める構成になっている。</li> <li>・単元冒頭で「やってみよう」と生徒に投げかけ、気づいたことを話し合う探求型の学習形式になっている。</li> <li>・漢字、ひらがな、カタカナをはじめ、数字やアルファベット、部分別行書一覧が字典として掲載されており、生徒が自分で調べて活用できるものになっている。</li> <li>・教科書のすべての毛筆教材に「二次元コード」がついており、運筆動画や用具、片付けの解説動画が閲覧できる。教室でのICT活用や家庭でのタブレット等を活用した復習が可能である。(二次元コードの数40で最も多い)</li> <li>・毛筆半紙のサイズに手本が作られているものが多い。</li> <li>・「書写ブック」等、字形の指導に関するページ数が多い。</li> <li>・各教材で、楷書と行書を比較できるよう並べて掲載している。</li> <li>・行書の導入では、行書の特徴を生徒が体験の中から見つけていく学習活動が設定されている。</li> <li>・生徒に身近な人物（スポーツ選手等）を教材に取り上げている。</li> <li>・学校生活の場面で生かせる活動や国語の学習内容と関連する活動が多い。</li> </ul> |
|----|----|---|

|                   |    |  |
|-------------------|----|--|
| 社会<br>(地理的<br>分野) | 東書 | <p>○生徒にとって身近で興味関心が持てる題材を、多面的・多角的に考察できる構成と内容になっている。大単元ごとの探求課題と1単位時間の学習課題が示され、地理的な見方・考え方で深めまとめるプロセスが明解であり、育成すべき3つの資質・能力を育むのに最もふさわしい。また、各単元ではキャラクターを有効に活用したクイズ形式やコラム等の挿入で、課題を主体的に追及し振り返らせる工夫がなされている。</p> <p>○挿絵・図表・統計等の資料数では、他社比較で最大値も最小値もなく、バランスよく配列され、色合いや本文も含め、平易で視覚的にも分かりやすく記述されている。巻末の資料及び用語解説も分かり易く焦点化し分類されている。</p> <p>○多くの学校で、中学校社会科との出会いが地理的分野であろうことを想定した時、今回の改定で統合された「世界と日本の地域構成」において、学びに向かう力を育む導入が視覚的・グローバル的にも一番整理されている。具体的には、世界地図から大自然を大観し、次に本改訂の目玉であるE S Dの視点で地理的な見方考え方につれていている。計算等が苦手で、最初のつまずきが予想される緯度・経度・時差の学習では、他地域との比較検討がしやすい資料情報で思考・判断させ、知識及び技能を習得・定着させるのに効果的である。</p> <p>○「世界の様々な地域」では、第1編同様、州ごとにまず大判の写真と地図及び統計資料で大観させることで、州ごとの探求課題を主体的・グローバル的につかむことができる。内容的には、特色が分かりやすい本文や比較検討し易い資料の配列・コラム等を基に、自然及び社会的条件等から言語活動に導いている。そのため、文化や宗教の多様性及び地球的課題等を理解し、学びを人生や社会に生かすことが期待できる。振り返りも、主体的学習をさらに深める実践的ページや、基礎的知識と概念的知識でまとめるページと多彩で、地域や生徒の実体に応じて使いこなすことができる。</p> <p>○「日本の様々な地域」では、各社とも九州地方では、別府温泉と八丁原地熱発電所の写真を掲載しているものの、本書の夜景写真は管内生徒にとって秀逸で捨て難い。地域調査は、目的や用途に応じた視点や手法が、段階的に焦点化されており、地域的特色を理解し効果的に調べまとめる技能習得に有効な構成である。日本の諸地域では、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信をテーマごとに学習した事を7地方別に、視点を組み合わせて振り返り深める課題追求をし易い構成となっている。とりわけ、九州地方では、地域調査とつなげて、九州北部豪雨や今回の熊本県球磨地域における災害を教訓に、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成にも対応可能な内容構成である。</p> |
|-------------------|----|--|

|               |    |  |
|---------------|----|--|
| 社会<br>(歴史的分野) | 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校の学習内容を踏まえて、各章の導入部分に2ページを使い、「みんなでチャレンジ」で、グループで協力しながら対話的な学習に取り組めるように工夫されている。また、歴史の流れが分かるイラストや年表、今後の学習のポイントとなる活動がわかりやすく提示されている。</li> <li>●時代の流れやつながりが捉えやすく、その特徴が政治・経済・社会・文化ごとに把握できる構成となっている。</li> <li>●単元の導入時などに、ICT（情報通信技術）を活用した学習ができるようにされている。</li> <li>●調べ学習の身近な地域の歴史や具体的な事象を主体的に学ぶ学習を通して、歴史に対する興味・関心が高められるようになっている。</li> <li>●各章末に、基礎的・基本的な知識や技能を確認したうえで、探究活動の解決に取り組む「基礎・基本のまとめ」以外に、時代を大観して「まとめの活動」として様々な思考ツールを使い、思考力・表現力・判断力を高める工夫がされている。</li> <li>●レイアウトが整えられて見やすい。写真や資料が充実しており、さらに資料と本文の内容に関連性をもたせ、生徒の興味・関心を喚起する内容になっている。1単位時間で学習する内容が、見開き1ページでおさめられており、1時間完結型の授業がしやすい。</li> <li>●「もっと歴史」などで、現代的な諸課題を解決する態度を育成するために、日本の環境エネルギー、人権・平和、伝統文化、防災安全、情報技術などがテーマとして示され、取り組みの様子なども記載されている。</li> </ul> |
|---------------|----|--|

|               |    |  |
|---------------|----|--|
| 社会<br>(公民的分野) | 東書 | <p>○教科書で使用しているすべての文字に、ユニバーサルデザインフォントを使用し、また、小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用している。</p> <p>○文章も敬体（ですます体）を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述されている。</p> <p>○私たちと社会との関わりという視点をベースに各章の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめ『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすく工夫している。</p> <p>○各章の学習は、①単元全体を貫く『探究課題』を立てる「導入の活動」→②1単位時間ごとの『学習課題』を解決しながら進める「問い合わせの追究」→③『探究課題』を解決する「まとめの活動」の形で問い合わせを軸にして単元を構造化し、学習を進めやすくしている。</p> <p>○選挙権年齢や成人年齢の引き下げに対応して、「選挙の流れ」（主権者教育）や「契約のあれこれ」（消費者教育）の特設ページが『18歳へのステップ』として新設され、18歳に向けた準備としての学習の位置づけが行われている。（高等学校の新科目「公共」の学習への橋渡しになる）</p> <p>○GIGAスクール構想で一人一台のタブレットを利用できるようになると、つまずきやすい学習内容の理解を助けるためのデジタルコンテンツが豊富に用意されているので活用しやすい。特に経済分野での需要量・供給量・価格の関係や円高・円安の影響等の関係をグラフに表すシミュレーションやグラフについての練習問題で確かな理解を促す工夫もされている。</p> <p>○他教科や他分野（地理・歴史）とつなげて学びを深めが出来る二次元コードやデジタルコンテンツが豊富で、利用しやすい資料が多い。（関連する他教科の教科書や地理・歴史の関連ページの紙面を直接見ることが出来る）</p> <p>○資料が授業の導入から展開まで活用できるよう配列されており、深い学びを実現する「見方・考え方コーナー」を新設し、2段階の「チェック&amp;トライ」で学習内容を確実に定着させるような紙面構成になっている。</p> <p>○思考力・判断力・表現力を高める『まとめの活動』が各章末にあり、導入の活動とリンクした題材を扱うことで、単元のまとめをもたせ、単元を通した評価がしやすいように工夫をしている。また、多彩な思考ツールを提示し、主体的に思考・判断した内容を適切に表現する力が付くようまとめ方を示してくれている。このことが社会の形成者として必要な資質の育成につながっていくと考えられる。</p> |
|---------------|----|--|

|    |    |  |
|----|----|--|
| 地図 | 帝国 | <p>○地理的な見方・考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域の地理的認識を養う上で扱うべき内容や地図、グラフ、地名等が詳しく、正しく、適切に分かりやすく標記されている。</p> <p>○目的別の地図や資料数が圧倒的に豊富で、多面的多角的に調査が出来る。また、小学校からの系統性を考えたときに、鳥瞰図や中心部の細密地図及び土地利用図等に絵図がふんだんに挿入されており親しみやすい。地図帳の使い方とテーマ別学習例として、我が大分県を取り上げたページが挿入される等、誇りと意欲が持てる。</p> <p>○大判構成で表紙も頑丈であるにも関わらず軽量で、全ての図表等が大きくて読み取りやすい。表紙の写真には、大分県竹田市の久住高原が採用されており、九州地方及び大分県の自然環境を学ぶ单元に通じる。</p> <p>○随所に、新学習指導要領に沿ったテーマ別のページが設けられ、全てのページに学習課題や活用の視点等が設定されており、読図に関する技能を高められるとともに、思考力・判断力・表現力を育成することが期待できる。巻末統計資料の比較対象項目も非常に多く、各国や都道府県等の特色を多角的多面的にとらえやすくなっている。二次元コードを使えば、さらに自発的な学習につなげることも可能である。また、九州北部の拡大ページには、管内地域の地図が網羅されており、身近な地域への興味関心が駆り立てられる。</p> |
|----|----|--|

|    |     |   |
|----|-----|---|
| 数学 | 啓林館 | <p><b>【全教科共通】</b></p> <p><b>《単元・題材の構成及び内容の取扱い》</b></p> <p>① ・1冊だが、「みんなで学ぼう編」と巻末「自分から学ぼう編」(横向き)の2冊仕立てで構成してある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総単元数：22（1年：7、2年：7、3年：8）</li> <li>・3年：2次方程式の解き方の順①平方根の考え方②解の公式③因数分解</li> </ul> <p>② ・小単元ごとに「練習問題」が設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の種類により「説明しよう」「話しあおう」等の表現を囲み文字で表している。</li> </ul> <p>③ ・学習内容ごとのちいさなくくりで「めあて」が緑色の文字で文頭に■を付けて示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しで「見通しやヒント」を示している。</li> </ul> <p><b>《資料等》</b></p> <p>① ・「教科書の構成と使い方」「ノートをくふうして学習に役立てよう」を例示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材数(QRコード)は164、すべての章末問題の解説動画を視聴できる。</li> </ul> <p><b>《挿絵・図表・統計等》</b></p> <p>① ・章ごとにインデックスがあり、検索が容易である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあては■、課題や問題は「ひろげよう」、まとめは灰枠、重要事項は黄枠で表示。</li> <li>・大分県関連の図や写真 第1学年「大分駄原球技場」(大分市)</li> </ul> <p><b>【教科独自】</b></p> <p><b>《データの活用》</b></p> <p>① ・統計的問題解決(PPDAC)を意識し、批判的に考察する力を育成することができる構成になっている。※PPDACとは、P(問題把握) P(計画) D(データ収集) A(分析) C(結論)</p> <p><b>《数学的活動》</b></p> <p>① ・日常の問題や社会の事象に関する問題数は比較的に多く、1日乗り放題の電車チケット、待ち合わせ場所を考える、カレンダー、買い物代金、シートの本数、時間と水の量の変化、班分け、ピザの大きさと半径に関する問題などが用意されている。</p> <p><b>《小学校との接続》</b></p> <p>① ・第1学年の教科書の巻末に「算数をふりかえろう」6ページがある。内容は、「速さ・道のり・時間」「割合」「小数・分数」について大問3問。授業でも扱うことができる形式。解くために必要な解説や例、公式を掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題は33問</li> </ul> |
|----|-----|---|

|    |     |  |
|----|-----|--|
| 理科 | 大日本 | <p>学習指導要領理科編に示された内容をもれなく扱い、教科の目標を十分に達成できるように1分野（化学・物理分野）2分野（生物・地学分野）の単元がバランスよく構成されている。</p> <p>教科共通の観点の資料等において、九州地方及び大分県に関する写真、データ等が多く掲載されている。特に第1学年第4単元「大地の変化」では、「地震による地面の揺れの伝わり」において、大分県杵築市・別府市・国東市・佐伯市が取り上げられている。また、教科書サイズについては、5社の中で最もコンパクトであり、生徒の負担が軽減できる。</p> <p>近年大きな問題となっている自然災害についての扱いが、章立てで丁寧に扱われており、自然災害から身を守る方法等の資料が充実している。</p> |
|----|-----|--|

|            |    |   |
|------------|----|---|
| 音楽<br>(一般) | 教芸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目次に各教材で何を学習するのか、生徒に分かりやすく整理して示されている。</li> <li>・ 小学校からの系統性と一貫性を重視して学習内容が配列されている。</li> <li>・ UDの視点でどの単元も「めあて」(左上)・「具体的な学習活動」(教材名の下) 音楽を形づくっている要素(左下)が焦点化されて示されており、生徒が取り組みやすい。</li> <li>・ 2・3年上P48・49やP56・57に見開きでの写真、P42・43では誰もが分かりやすい注釈を入れるなど授業でピンポイントに扱いやすい。感性に訴える写真を選んでいる。</li> <li>・ 「My Voice!」には、歌唱の技能を段階的に身につけながら学習できるように構成されている。生徒がよりイメージできるように、イラストや具体的な説明で示されている。</li> <li>・ 歌唱・創作・鑑賞の各分野において、学年を追って必要な技能を段階的に習得できるようになっている。</li> </ul> |
|------------|----|---|

|              |    |   |
|--------------|----|---|
| 音楽<br>(器楽合奏) | 教芸 | <ul style="list-style-type: none"><li>・目次に各教材で何を学習するのか、生徒に分かりやすく整理して示されている。</li><li>・生徒に身近な打楽器やその詳しい奏法が、分かりやすく掲載されている。</li><li>・一般的教科書の鑑賞教材と関連させた教材がある。</li><li>・「深めよう！音楽」というページがあり、友だちと話し合い演奏する活動が随所にみられる。良い音を出すアドバイスも示されている。</li><li>・主体的に学びに向かえるように、現在活躍されている奏者からのメッセージが多く掲載されている。</li><li>・必要な技能を身につけながら、思いや意図をもった表現につながるように、親しみやすい曲が段階的に示されている。</li><li>・演奏の難易度に合わせて、ポイントが分かりやすく示されている。</li><li>・有名な奏者とともに、楽器の構造や名称、奏法が説明され、さらに、楽器の種類に応じた鑑賞曲がCDマークで示されている。</li></ul> |
|--------------|----|---|

|    |    |  |
|----|----|--|
| 美術 | 日文 | <ul style="list-style-type: none"><li>・レイアウトの構成や、ページの色づかいが他社の教科書と比較して、生徒の目を引き、興味関心を持ちやすい編集がされている。</li><li>・図版や生徒作品の掲載が他社に比べ、多くある。</li><li>・作者のことばがたくさん掲載され、作者の考えに触れることができる。</li><li>・表現活動と鑑賞活動のバランスがよい。</li><li>・生活や社会を豊かにさせる内容（職業や、ユニバーサルデザインなど）が記載され、社会と美術の関わりについて考えることができる。</li></ul> |
|----|----|--|

|          |    |  |
|----------|----|--|
| 保健<br>体育 | 学研 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元・題材の構成は、「体育編」「保健編」の順で、学年別に配置されており、1単位時間見開き2ページを基本構成として、各題材の1時間当たりに取り扱う量が適切である。</li> <li>○各章の扉の部分において、小学校で学習したことと高校で学習することを示しており、校種の接続を考慮している。</li> <li>○1時間の学習の流れが、「学習目標」→「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」といった生徒にとって主体的・対話的で深い学びが実現しやすいような構成になっている。</li> <li>○「課題をつかむ」では、発問形式となっており、その時間で何を学習するのか、生徒が課題意識を持ちやすくなっている。</li> <li>○随所に「コラム」として、学習内容に関連した読み物資料を準備し、学習したことを見出し、深める工夫がなされている。</li> <li>○体育編では、スポーツへの関わり方や楽しみ方、オリンピックやパラリンピックを通してスポーツの価値や意義について考える工夫がなされている。</li> <li>○保健編では、多くの写真やイラスト、図表、統計を用いて生徒が興味・関心をもって取り組みやすいものになっている。</li> <li>○造本の質が高く、目にやさしい色合いの用紙で、ユニバーサルフォントを使用し、生徒にとって読みやすいものになっている。</li> </ul> |
|----------|----|--|

|             |     |   |
|-------------|-----|---|
| 技術・家庭（技術分野） | 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"><li>○各内容ともに、第1章は基礎的な知識と技能の学習、第2章は問題解決、第3章は持続可能な社会の構築について考えさせる構成になっており、課題解決や発展的な学習を進めるための手がかりとしてよく工夫されている。</li><li>○重要語句の個数が多く、写真の印刷も鮮明である。また、二次元コードがページごとに多くあり、必要な資料をスムーズに探すことができる。動画をはじめとした資料が多く準備されており、学びに使う力を育むためによく工夫されている。</li><li>○材料ごとに加工方法が記載されており、分かりやすい内容となっている。さらに、社会的・環境的・経済的側面から生活と技術のかかわりが詳しく示されている。</li><li>○この地域で栽培しやすい事例が多く記載されている。</li><li>○エネルギー変換に関して、環境や資源の面からの様々な内容が分かりやすく、整理されている。</li><li>○情報セキュリティと情報モラルの内容を分けて、より分かりやすく記載している。さらに、知的財産権の保護についても、具体的に詳しく述べられている。</li></ul> |
|-------------|-----|---|

|                 |     |  |
|-----------------|-----|--|
| 技術・家庭<br>(家庭分野) | 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○小単元ごとに「学習の目標」が示されており、「振り返り」の項目で学習内容の習得を確かめるようになっている。「振り返り」は小単元ごとに記述式で設定され、実生活への活用の視点が見られる。</li> <li>○Aの学習内容については、高齢者とのかかわりに重点を置いており写真・資料や具体例が多く示されている。</li> <li>○Bの学習内容については、新学習指導要領から扱う和食についての調理実習例が24例あり、蒸し料理についても野菜やイモを活用し新指導要領に沿った実習例となっている。</li> <li>○Cの学習内容については、各学習内容において、持続可能な社会に関連した内容が組み込まれている。SDGsについても、かかわりのある項目が各学習内容の末尾に紹介されている。</li> <li>○生活の課題と実践では、Aの学習内容でもBやCの学習内容とも関連付けて考えられるように工夫されている。</li> </ul> |
|-----------------|-----|--|

|    |     |  |
|----|-----|--|
| 英語 | 三省堂 | <p>各単元が①学びの見通しを立てるとびら ②基礎的・基本的な知識・技能を習得する GET ③知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力を養う USE ④学びをふり返る Project で構成されており、スマールステップを踏んだどの生徒も学びやすい配列になっている。</p> <p>また、4技能5領域を統合的に活用し、コミュニケーションを図ることができるよう、対話的な学びや深い学びを引き出す言語活動を行う構成になっている。例えば、各学年とも GET Plus では、場面設定を活かした基礎的な会話練習ができるように工夫されており、Take Action！のページでは、即興で伝え合ったり話したりすることに関する活動とテーマが設定されている。</p> <p>USE Read のページでは、目的や場面、状況に応じて、まとまりのある英文の概要や要点を読みとる力をつけることができる。日本文化・異文化理解・社会問題など豊富な題材を扱い、適度な文量の英文を段階的に読みとができる STAGE が配置されているため、地域の課題である読みの力を深めるのに適している。</p> |
|----|-----|--|

|    |    |   |
|----|----|---|
| 道徳 | 日文 | <p>○読みやすい、理解しやすい工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての教材が右ページからはじめられている。区切りがわかりやすく、目的の教材を見つけやすいつくりになっている。</li> <li>・マンガ、写真、挿絵、人物相関図等を効果的に掲載している。</li> </ul> <p>○道徳の内容項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命についての教材が多く掲載されている。生命の尊さについて多様な面から考えを深めることができる。</li> <li>・特に重点的な項目（「いじめ」「社会とのつながり」）は、異なる内容項目に属する様々な教材・コラムを組み合わせた編成になっている。一定期間に集中的に学び、より深く、多面的・多角的に考えることができる。</li> </ul> <p>○授業展開で効果的な面について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の冒頭に、学ぶ内容を示した小さな見出しがあり、授業の導入で効果的に使用できる。</li> <li>・各教材の末尾に、教材のねらいにつなげる「考えてみよう」の発問がある。さらに「自分に+1」という、授業で学んだことを「前向きに自分に生かす」など、考えを深めたり、今後の行動を変容させたりすることにつながる発問がある。</li> </ul> <p>○付属の別冊ノートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての教材が1ページで記録できるような仕組みで、同じ構成になっている。</li> <li>・自分の意見と他者の意見を対比させ、「考え、議論する」授業づくりができる。</li> <li>・生徒が学習をふり返り、自己の変化や成長を実感できる。</li> <li>・指導者が生徒の成長をとらえ、励ます個人内評価に活用できる。</li> <li>・生徒の学びや成長を家庭に伝えるのに有効である。</li> </ul> <p>○その他特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コラム「私の生き方」で、多くの有名人（1年15名・2年9名・3年22名）の生き方や言葉を紹介している。</li> <li>・大分県に関わりのある人の題材が掲載されている。</li> </ul> <p>2年生の教材<br/>「行動する建築家 坂 茂」 … 大分県立美術館の設計者</p> <p>3年生の教材<br/>「No Charity , but a Chance」 … 「太陽の家」の創設者 中村 裕医師</p> |
|----|----|---|